

平成 21 年第 2 回（6 月）定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
11番 佐藤徳宣	1. 豊後大野市の環境保護対策について	<p>① 地球規模での温暖化対策が叫ばれている中、豊後大野市としてこれまでどういう施策、対策を行ってきたか。また、これからどういう施策、対策を行おうとしているのかを伺う。</p> <p>② 特に省エネ対策について、これまでの経過とこれからの対策を伺う。</p>	市長
	2. 市内中小建設事業者の経営状況の悪化について、発注者としての考えは	<p>① 国の公共事業費削減のあおりを受けて、豊後大野市も削減してきた。市内中小建設事業者の経営内容は、経営事項審査結果等で把握していると思うが、その結果について、市としての考えと対策について伺う。</p> <p>② 今後の豊後大野市の普通建設事業費についての方針を伺う。</p>	市長
	3. 急傾斜地崩壊対策事業について	<p>① 平成21年度の県土木事業及び市単独事業の計画と現在までの実施状況について。また、合併後4年間の事業の成果について伺う。</p> <p>② 現在、市内では少子・高齢化に伴い、限界集落が大半を占めるまでになり、困窮生活を余儀なくされているが、安心安全な生活が第一と考える。関係地区の負担金を廃止することはできないか。</p>	市長
15番 高山豊吉	1. 地域の特性を活かしたまちづくり	<p>① 合併後4年を経過して、これまでの各種事業計画の見直し、あるいは新規計画立案の必要性が生じて来ていると考える。 なかでも、犬飼バイパスの完成による交通渋滞の解消、中九州横断道路整備の進捗に伴い、市内各地と大分市等への交通アクセスの向上が図られている。 そこで以下の項目に取り組みはどうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 分譲住宅団地の造成。 2) 企業誘致（遊休建物、施設の活用をも視野に入れる。） 3) 大野川水系での川の駅構想の実現（水、生物、景観、歴史的資源を活かす。） 4) 豊後大野市の魅力、情報の更なる発信。 5) 本市と隣接する地域・自治体との一層の連携。 6) 合併後の各種事業の検証と検証結果の今後の事業計画への活用。 	市長

8番 恵藤千代子	1. 安全な生活用水（飲料水）の確保について	<p>① 市営水道（上水道・簡易水道・専用水道）の給水区域外の地域では、生活に十分な水が得られないなど、困っている世帯があると聞き及んでいるが、実態をどのように把握しているのか。 実態調査・意向調査をすべきと思うが市の考えは。</p> <p>② 市民が等しく安全な水で生活できるよう、水道未普及地域の対策について、今後どのように推進していこうとしているのか。</p>	市長
	2. 周辺地域（小規模集落等）対策について	<p>① 県は小規模集落対策を最重要課題として、市町村と連携した対策に乗り出している。 取り組みを一層充実させるための市の支援体制は整っているのか。</p>	市長
1番 神志那文寛	1. 子育て支援の拡充を	<p>① 合併前の旧町村で支給していたように、出産祝金制度を創設してはどうですか。</p> <p>② 中学3年までの医療費を無料とすることは大歓迎です。これまでの未就学児と同様、窓口免除とすべきではありませんか。</p>	市長
	2. 議員報酬は、せめて前年並みカットを	<p>① 市長給与20%・副市長給与15%・教育長給与10%のカットを決定したが、職員給与の5%カットと合わせて、年間でいくらの経費が節約できるのですか。</p> <p>② 職員給与5%カットが継続され、市長等特別職給与カットも決まった中で、議員報酬だけがカットされていない今の状態を、市長はどう受け止めていますか。</p>	市長
	3. 多くの市民に喜ばれるケーブルテレビ事業に	<p>① ケーブルテレビ使用料は、生活保護世帯等に加えて、難視聴地域の世帯にも減免措置を講じるべきではありませんか。</p> <p>② ケーブルテレビ使用料とインターネット使用料の合計額を、できるだけ低く設定すべきではありませんか。</p> <p>③ 自主放送番組のビジョンを作成し、市民にとって有用で魅力あるものにすること。</p> <p>④ 工事は市内業者に優先的に発注し、また市民にとっても業者にとっても喜ばれる方法をとっていただきたい。</p> <p>⑤ 市民への説明会を丹念に行い、加入率促進を図ること。</p> <p>⑥ 企業誘致に役立つものにすべきではありませんか。</p>	市長

10番 小野泰秀	1. 橋本市長の就任のあいさつについて	① 市報6月号に掲載された橋本市長の就任あいさつの中で、「教育委員会を千歳支所に、農業振興センターを市中央公民館に移転し、機能性と実効性を向上させます。」という文言については、重要な内容の意味合いを持つものであり、こうした形態をとろうとする市長のお考えをお尋ねします。	市長
	2. 中学校3年生までの医療費の無料化について	① 施策の設置目的と、中学3年生までとする理由は。 ② 財源の確保はできるのか。 中学3年生まで医療費をすべて無料にすることが本当に必要なのか、現在の財政事情をどのように判断されているのか。	市長
	3. 入学式、卒業式での国旗掲揚、国歌斉唱について	① 入学式、卒業式で国歌斉唱のとき、君が代が歌われはじめると、校長、教頭を除くほとんどの教師は口をつぐんだままだが、学習指導要領には国歌を斉唱するよう指導するものと義務づけられており、斉唱の徹底を図るべきと思うが、考えを伺いたい。	教育長
	4. 教職員の選挙活動について	① 総選挙を控え、教育の政治的中立性を確保する観点から、どのように教職員の服務規律を確保するのか。	教育長
19番 宮成昭義	1. 自治基本条例策定について	① この条例策定については、平成19年度より取り組み、3年目を迎えました。 本年も企画費に予算計上しているが、その策定状況は、どのようになっているのか伺います。	市長
	2. 支部や協議会等の負担金について	① 19節における県等の支部や協議会及び連合会等々、73協議会に負担金として予算計上しているが、どのような取り組み、対策が講じられているのか伺います。	市長
	3. 工業適地調査委託事業について（平成20年度事業分）	① 昨年、第1回議会定例会（3月）において、当初予算の総務費委託料で工業適地調査委託料5,000千円（地質調査及び水量調査）を計上、大野町1カ所、千歳町2カ所とのことで説明があったが、千歳町2カ所については、事業実施がされなかった。 なぜなのか伺います。	市長

20番 深田 征三	1. 本市の地域振興策と学校統合について	① 市の教育委員会は、昨年9月に小学校の統合基本計画を発表した。 その中に三重町の菅尾・百枝・新田の学校統合とある。 地域から学校がなくなることによる若者の流出、地域の衰退は誰もが懸念される。 行政として学校統合の前に、その防止策として、地域における地域の活性化策、若者の定住化対策等の計画、あるいは取り組みについて伺う。	市長
	2. 病院統合問題について	① 市長の就任あいさつの中に、「公立おがた総合病院と県立三重病院の統合につきましては、中核病院となるおがた病院での増床工事が予定されています。 私はまず第一に関係機関、特に県と一緒に医師確保を確実にしなければならぬと思っています。」とあります。 1) その進捗状況と見通しは。 2) 医師確保が困難な場合の対応の具体策について イ) 病院基本構想の変更 ロ) 増床工事計画の変更 ハ) 病院統合の県との合意事項の撤回はあるか。	市長
4番 衛藤 竜哉	1. 「豊後大野市はひとつ」の思いについて	① 市長が選挙中、強く訴えてきた「豊後大野市はひとつ」は、これからの市政、市民にどのように浸透させていくのでしょうか。 それぞれの町の中での事業活動消化が中心で、「豊後大野市が」というものが感じられなかった。 市政5年目を迎え、どのように考えているのか。 そして市長自らが先頭になって豊後大野市のあらゆる分野で広報、PRしてゆくトップセールスの考えについても伺う。	市長
	2. 文化財の保存について	① 市内には数多くの文化財があります。 国、県の有形・無形文化財の指定を受けているものや旧町村ごとに公民館や文化財保護に携わってきた方々を中心に農具、民具など貴重な文化財の資料を集めていました。 豊後大野市になって、それらは現在どのような管理をされているのか伺う。	市長
	3. 鳥獣駆除対策について	① これまで議会審議の中でも、多くの議員から対策の強化、推進の要望や質問が出されてきました。 しかし、その効果が見えない。 被害の範囲が山沿いはもちろん、住宅街や人の生活しているすぐそばまで拡大している。 これらの駆除の強化を求める声に積極的に取り組んで欲しい。 どのような対策を講じていこうとしているのか。国、県、そして市独自の更なる対策を伺う。	市長

14番 赤嶺謙二	1. 高速情報通信網整備事業について	<p>① 事業の必要性と絶好の機会であることは理解できる。市内24ヶ所で市民座談会を実施したことは評価するが、市民全体を考えた場合、十分とはいえない。市民のコンセンサスを得るために、今後どのような方策を考えているのか。</p> <p>② 課題は、開局後の維持・管理・運営である。状況によっては、市の財政を長期にわたり圧迫する結果になりかねない。加入率、自己負担額、減免措置、1年毎の市の負担額など、試算(見通し)は。</p>	市長
	2. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の街づくり宣言のススメ	<p>① 一昨年12月、政労使の合意のうえ、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」と行動指針が策定された。目指すべき社会の姿を実現すべく、市が率先して街づくり宣言をしてはどうか。</p>	市長
	3. 父子手当創設のススメ	<p>① 現在、本市においては、児童扶養手当はあるが、父子手当はない。不公平感があり、何よりも子どもたちに格差があってはならない。父子手当の創設をすべきと考えるが。</p>	市長
3番 和田哲治	1. 合併新市の2期目をスタートする第2代市長としての市政方針について	<p>① 「合併により失われたものの方が大きい。」との市民の声が、この4年間多く聞かれる中で、市議会議員として新市発足の1期4年を経験され、そして今回新市2期目を託された市長として、この4年間をどう「総括」されていたのか。</p> <p>② 「施政方針」に優先順位があるならば、どの方針からか。また、「重要政策」は何か。</p>	市長
	2. 過疎・高齢化による「限界集落」に対して、行政の「今できる支援」の対策について	<p>① 「過疎集落支援係(仮称)」を各支所に設置し、専任職員(兼任)により地域の実情を把握(ニーズ)し、実態に合わせた対策づくりが早急にできないか。</p> <p>② 併せて、今年第1回定例会(3月)において、「小規模集落等の方々の交通手段について、その実態調査を企画部において対処したい。」との答弁をされているが新年度に引き継がれているのか。</p>	市長
	3. 高速情報通信網整備事業(ケーブルテレビ整備事業)の執行にあたり、地元施工業者への優先策について	<p>① 市内の経済活性化について、市長の理念では「市が計画する様々な事業については、1円でも多く市内の業者が潤う計画を優先します。」とありますが、本事業の工事を執行するにあたり、その優先策は。</p> <p>② 計画では初年度(平成21年度)からの2ヵ年に集中して工事が実施されることになるが、受注先も「電気通信設備工事業者」のみならず、市内の「土木建設工事業者」の機械力・機動力を積極的に活用するなど技術連携としてジョイントできないか。</p>	市長

<p>17番 衛藤正宏</p>	<p>1. 市内の道路整備について</p>	<p>① 地域住民の利便性向上に向けて、生活道路の整備促進をどのように図っていくのか。</p> <p>② 過疎自立計画及び総合計画に基づいて実施されているのか、現状をお聞きします。</p> <p>③ 市道、農道の管理の現状と今後の進め方について</p>	<p>市長</p>
	<p>2. コミュニティバスの運行について</p>	<p>① 高齢化に伴い、コミュニティバスの運行が重要になってまいりました。 運行回数や路線、時間、場所等の変更の要望が多いが、現状と今後の方針について</p>	<p>市長</p>